

あけましておめでとうございます。きゅうしょくカンガルー！（奈良の学校給食を考える会）です。2012年12月の設立から10年を迎えることができました。今年も私たちは、おいしい給食&ほんとうの食育をめざして活動していきます。

このメルマガは、私たちの活動や奈良県内の給食をめぐる状況をお知らせしたく、今までの活動の中で連絡先を交換させていただいた方を中心にお送りしています。メルマガ解除をご希望の方は、お手数ですが、oishiikyusyoku@gmail.com まで解除希望の旨をお書き添えの上ご連絡ください。

■ ■ もくじ ■ ■

1. 設立10周年！

■ 1 ■ 設立10周年！

奈良の学校給食を考える会は、約2年間の準備期間を経て、2012年12月に設立されました。設立総会には愛媛県今治市より安井孝さんをお招きし、記念講演をしていただきました。それから10年。これまでの歩みをふりかえってみたいと思います。

準備期間中の活動として、奈良県下全39市町村および、式下中学校、奈良教育大学付属小学校、奈良女子大学付属小学校へのアンケート調査（回答率100%）を実施しました。これにより、奈良県内の給食内容の概況が明らかになり、その後この結果に基づいて活動を進めることに。

2011年には、大和郡山市での活動がスタートしています。

2013年9月、2日間にわたり「こどもの食フォーラム」を開催。4名の講演、クロストーク、農家の給食ツアー、弁当の日と盛りだくさんの内容で、こどもの食と農、それを支える大人の仕事・責任について考えました。

2014年2月からメルマガによる情報発信を開始。素晴らしい学校給食の取り組みをしているところや、当初は会員を募っていましたが団体会員の紹介を発信しました。バックナンバーはこちら→ <https://www.shizenha.net/nara/1824-2/>  
※取材させていただいたところ

奈良市立月ヶ瀬小学校、宇陀市立学校給食センター、平群町立学校給食センター、

大和郡山子どもの食を考える会、奈良市保健給食課、奈良市鶴舞幼稚園、ばあく、香芝市立下田小学校、奈良市立伏見小学校、宇陀ランチ・プロジェクト、畑ヘルパー倶楽部、奈良県農民連、奈良オーガニックマーケット、健一自然農園、月ヶ瀬健康茶園、田原ナチュラル・ファームほか

2015年9月、「こころとからだをはぐくむ子どもの給食」と題し、3名の講演会と、菌ちゃん先生と畑の土作りワークショップを開催しました。

2016年1月～3月奈良NPOセンター主催「もうひとつの学び舎」企画運営協力、9月～12月「第15回全国地紅茶サミット in 奈良」関連イベント企画運営協力、2017年11月奈良市主催「奈良のお米を体験する10の講座」企画協力と、他団体への協力が盛んな時期もありました。

また2016年には、橿原市での活動がスタートしました。

2018年は、学校給食がどのようなルールや制約の中で提供されているのか、栄養計算、予算計算、献立作り、タイムスケジュール、導線など、食材の納入～提供までを体験できるゲームを作りたいと模索しましたが、完成せず頓挫しています。また、2018年には、奈良市での活動がスタートしました。

2020年、農水省「オーガニックビジネス実践拠点づくり事業」補助事業として、栽培技術講習会をスタートしました。オーガニック給食実現のために、地域で高品質・多収穫の栽培ができる農家を増やすことが目標です。この取り組みが、2021年「かしはらオーガニック」設立、2022年3月橿原市での協定締結につながりました。

10年の間、定期的に交流会を開催する中で、大和郡山市、橿原市、奈良市での活動がスタートし、また三宅町、天理市、三郷町へと活動が広がろうとしています。また全国でも、2020年9月子どもたちの給食を有機食材にする全国集会（東京）開催、2021年5月農林水産省「みどりの食料システム戦略」策定、11月オーガニック給食プロジェクト in 関西（大阪）開催、2022年10月全国オーガニック給食フォーラム（東京）開催と、オーガニック給食への関心と動きが高まっています。

学校給食は、地域（市町村）という小さな範囲で、保護者、農業者、栄養士など多くのステークホルダーが協力する必要のある取り組みです。小さいからこそ、子どもたちの笑顔が直接見られるやりがいのある取り組みともいえます。私たちはおいしい給食&ほんとうの食育をめざす仲間がどんどん増えて広がっていくように、これからも活動していきたいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。